

嗜好調査における集計報告

《目的》

ご利用者に向けて普段の食事、行事食に対する意向の把握、意見を集約することを目的として行いました。

《方法》

別紙1の質問紙を用いて聞き取りを実施しました。

通所は7月31日(月)～8月12日(土)の期間で配布、回収を行った。ご本人が記入できる方はご本人が、記入できない方はご家族より聞き取り、記入をして頂きました。

入所は8月5日(土)～9月13日(木)の期間で配布、聞き取りを行い、ご本人が記入できる方は本人が、記入できない方は職員が聞き取り、記入を行いました。

質問紙には認知症等によりご本人の意向の確認が困難の方もいらっしゃるため、回答項目に「分からない(回答できず)」を設けました。

《結果》

結果は別紙2の通りです。

通所では「分からない(回答できず)」、「未回答」の割合が少なかったことに比べ入所では各項目とも25%前後を占めていました。

《まとめ》

通所では量や味付けについては概ね80%以上が「丁度よい」との回答でした。普段の食事の満足度は「満足」、「普通」の回答が多く「不満」との回答はありませんでした。行事食については少数ではあるが「不満」との回答があり、また「分からない(回答できず)」との回答も見られました。行事食は原則月に1回実施しており、利用日が行事食に当たらない方もいるためではないかと推察されます。「好きな料理」、「食べたい料理」の回答も踏まえ、提供の曜日が偏らないよう意識しながら献立作成をしていきたいです。

入所では量や味付けについて「丁度よい」との回答が多かったですが、「多い(固い)」、「少ない(薄い)」という回答も通所に比べ若干多い傾向にありました。普段の食事、行事食についても「満足」、「普通」の割合が多かったが、「不満」との回答も見られています。これは糖尿病等の疾患により食事療法のため療養食を提供している方や嚥下障害や体力の低下、認知症等により摂取できる量に限りがあり(たくさん食べれない)方にとっては味付けや量に満足されていない方もと考えられます。実際のところ、高エネルギー食品を併用しても必要量の摂取が難しい場合があることも現状です。また、「あれが食べたい」「この日(行事)の日はこういうものを食べたい」と言われる方の中には摂食・嚥下機能低下等の問題で食べて頂くのが難しい方もいらっしゃいます。なるべく安全に食べられて満足して頂ける献立や行事食を検討していきたいと考えています。好きな料理、食べたい料理については寿司や刺身に多く票が集まりました。生ものは提供できる時期が限られていますが可能な範囲で提供を続けていきたいです。

その他、頂いたご意見、ご要望も今後の食事提供に活かしていきたいです。